

「地域研究科」のプロジェクト紹介

2026年2月現在



盛年による地域づくり － 仲間とともに、地域の方々とともに、地域発展を目指す

特定地域の活性化

- (1)天理山辺地域のまちづくりを学ぶ……2頁
- (2)故郷を未来に残す－明日の山添村……4頁
- (3)矢田地区の発展に向けて……6頁
- (4)黒滝村と共に－魅力の発見と発信－……8頁
- (5)楽しい里山づくり……10頁

特定分野の課題解決

- (6)奈良のおみやげ魅力開発……12頁
- (7)「防災・減災」活動を通じた地域づくり……14頁
- (8)高齢者支援活動のネットワークづくり……16頁

(1) 天理山辺地域のまちづくりを学ぶ

- ◇天理山辺地域は、日本最古の道「山の辺の道」が南北に走り、多くの古墳・神社仏閣等があり、歴史・文化遺産、自然景観にも恵まれ、古代ロマン漂う地域です。
- ◇この地域で地域研究(地域活動に学ぶ)に取り組み12年になります。
- ◇柳本もてなしのまちづくり会が主催する「柳灯会」(33面もの三角縁神獣鏡が出土した黒塚古墳とその周辺を、毎年9月中旬に灯火で彩る)には、毎年、実践参加しています。



黒塚古墳から出土した三角縁神獣鏡

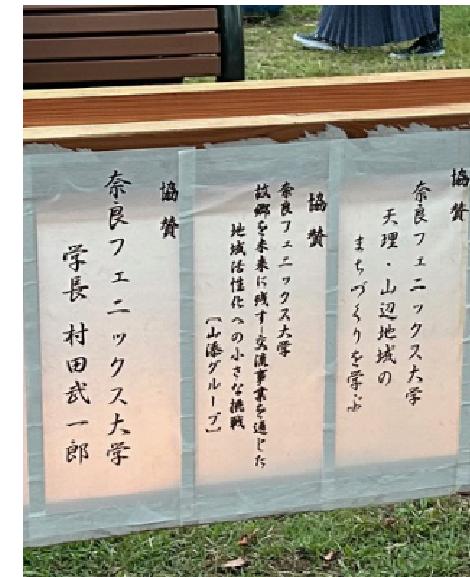


柳灯会

黒塚古墳と周濠に灯火が映え、幻想的な風景が生まれる



◇「柳灯会」は、23回を数えています。「柳灯会」では、「柳本もてなしのまちづくり会」の方々を支援できるよう、準備段階から参加・協力してまいります。



奉賛金提供者の灯籠



「柳灯会」当日の点火作業風景



点火作業を終えて

(2) 故郷を未来に残す－明日の山添村

山添村は「何もない村」と聞いていたが、村を訪ね、地域の方々との交流の中で、すばらしい地域資源が見えてきました。

- ◇縄文遺跡をはじめとした歴史遺産
- ◇大和高原の原風景を残す豊かな自然環境
- ◇大和茶の有数の産地
- ◇今日に引き継がれている生活文化



大川遺跡(縄文時代)

活動のキーワードは“交流”

“交流”を通じて村に新しい風が吹き続け、活気のある地域再生につなげることを思い活動を進めています。



国史跡毛原廃寺(奈良時代)



地域の方々との意見交換会



大和高原に広がる茶畠

共働プレーヤーとして活動しています。

- ①広瀬さくらまつりでは、今年度も鯛焼き店を出店。収益は福祉事業に寄附しました。
- ②竹工房教室へ参加しています。
- ③蕎麦プロジェクトは、山添蕎麦の特産品化を目指し、実証店舗の運営を支援しています。
- ④快慶作「阿弥陀如来像」活用を通じた地域おこしの可能性の検討を進めています。

これからも、地域に根づいた取り組みを、楽しみながら進めます。



竹工房教室
(ブックカフェひろせ)



蕎麦御膳



広瀬さくらまつりの様子



西方寺の阿弥陀如来像
(快慶作)

(3) 矢田地区の発展に向けて

住民の方々との交流を深めながら、矢田地区が「より魅力的な矢田地区」へと発展する一助となるよう活動を続けています。

私たちの活動が停滞していた矢田地区を変えつつあります。「活動に参加したい」との声が多く寄せられるなど、活動が着実に広がっています。

主な活動

- ①矢田寺へ続く坂道(参道)に鉢植えのアジサイを置き、アジサイロードとしています。
- ②地域でのホタル、カワニナの生息を、より持続的に、自然に少しでも近づけられるように、矢田山荘、子ども園、矢田寺など4~5カ所での研究・交流を続けています（次頁に写真）。
- ③国際・文化(音楽)交流は、これまでの小さなコンサートを月1~2回に広げ、いろいろな楽器演奏、歌など、プロのミュージシャンも参加して20~30人で楽しむようにしています。
- ④田畠での作業、ハイキング、観光を、宿泊を含め参加型・体験型プログラムを提供しています。
- ⑤アジサイカリントウを販売し、収益を活動資金に充てています。



国際・文化交流
(小さなコンサート)の様子



ゲンジボタルとカワニナの水槽



ゲンジボタルの幼虫



羽化したゲンジボタル

◇矢田寺境内において
のホタル観賞会、
地区の子どもたちとの
ホタル鑑賞会を実施
しました。



矢田寺境内でのホタル鑑賞会



子どもたちとのホタル観賞会

(4) 黒滝村と共にー魅力の発見と発信ー

黒滝村の自然に親しみ、人・文化財・伝統工芸を知ること、その魅力を発信し、少しでも多くの人に村を訪れてもらうことを目的として活動しています。



水組み



チェーンソー
アート作品



村の方々との交流会



鳳閣寺・理源大師廟参道の清掃後

現状認識と活動の方向性

分野	現状認識	見通しと方向性
林業	<ul style="list-style-type: none"> ◇黒滝村＝吉野杉のイメージ 森林が最大の資源 ◇国産材市場の低迷に歯止めが掛からない ◇木工産業の後継者難 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国産材市場の低迷は続きそう ⇒ 森林を環境資源として生かせないか 観光とのコラボレーションを模索 ◇木工産業の後継者問題は今後も続くと予想 ⇒ 特產品(土産)としての商品開発 工房での体験ツアー検討
観光	<ul style="list-style-type: none"> ◇日本遺産や伝統行事など 魅力的な観光資源 ◇黒滝こんにゃく、朴の葉すし、 黒滝白きゅうり等の伝統食 ◇宿泊施設、駐車場が少ない 食事場所や名物料理が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ◇チェーンソーアート、アマゴセンター、朴の葉すしを 活用したイベントの開催も検討 ◇空き家の有効活用、5G等ネット環境の整備を 検討し、魅力ある村づくりを訴求 ◇宿泊施設:新たな宿泊施設が開業 ◇伝統行事:河分神社例祭、花供入峰、サマーフェスティバルなどの周知



(5) 楽しい里山づくり

- ①矢田地区において、耕作されなくなった田畠での野菜・果樹栽培を行うとともに、子どもたちや地域の方々との交流を深め、楽しく活動しています。
 - ②CO₂吸収効果が高いヒマワリを植え、地域の人々とのつながりを深める「ヒマワリ畠」を作っています。
 - ③ヒマワリ畠に蜜蜂箱を設置し、ミツバチの活動を助け、共存する自然の生態系をつくる活動を行っています。
 - ④地域に伝わる伝説や歴史を調べ 地域をもっと知ります。
2025年度は、「主人神社」「味噌なめ地蔵」を調べ、創作絵本づくりを行いました。
- ※「発展する矢田の会」、「山添グループ」とコラボしながら活動を進めます。



主人(ぬしと)神社



主人神社には、旅の僧と愛犬サンが恐ろしい土ぐもを退治した伝説が伝わっています。



ヒマワリ畠(7月中旬)



サツマイモの収穫

耕作されていない田畠での野菜・果樹栽培等の取組みスケジュール



(6) 奈良のおみやげ魅力開発

奈良を訪れた観光客向けの“手軽な奈良みやげ”の開発

- ◇観光客の方々の来奈記念になる“手ごろな奈良みやげ”を開発
- ◇誰もがわかる“奈良らしい”図案を使う。

(1)奈良の鹿をモチーフにした小物を作る。

品名：銘々皿（サイズ12cm～15cm）

意匠：鹿の図案

(2)ショップでの展示・販売を目標とする。

(3)銘々皿以外の作品(折敷など)についてもチャレンジ中



竹籠(例)



和紙貼付(2回)



柿渋1回塗
一閑張り“銘々皿”の製作過程



柿渋3回塗

**奈良のかくれた魅力を“おみやげ”で再発見する。
2025年度は、「大和茶」を中心に検討を進めました。**

- ①大和茶カフェにて抹茶パフェを体験
- ②抹茶と奈良のおみやげ(最中)の組合せを楽しみました。



大和茶カフェ(茶樂茶)



大和茶パフェ



元興寺境内にて

(7)「防災・減災」活動を通じた地域づくり

災害が発生してからでは手遅れ！

奈良フェニックス大学受講生で防災士の方々との「ネットワーク」を活かし、防災・減災意識の啓発活動を行っています。



心肺蘇生訓練(胸骨圧迫)



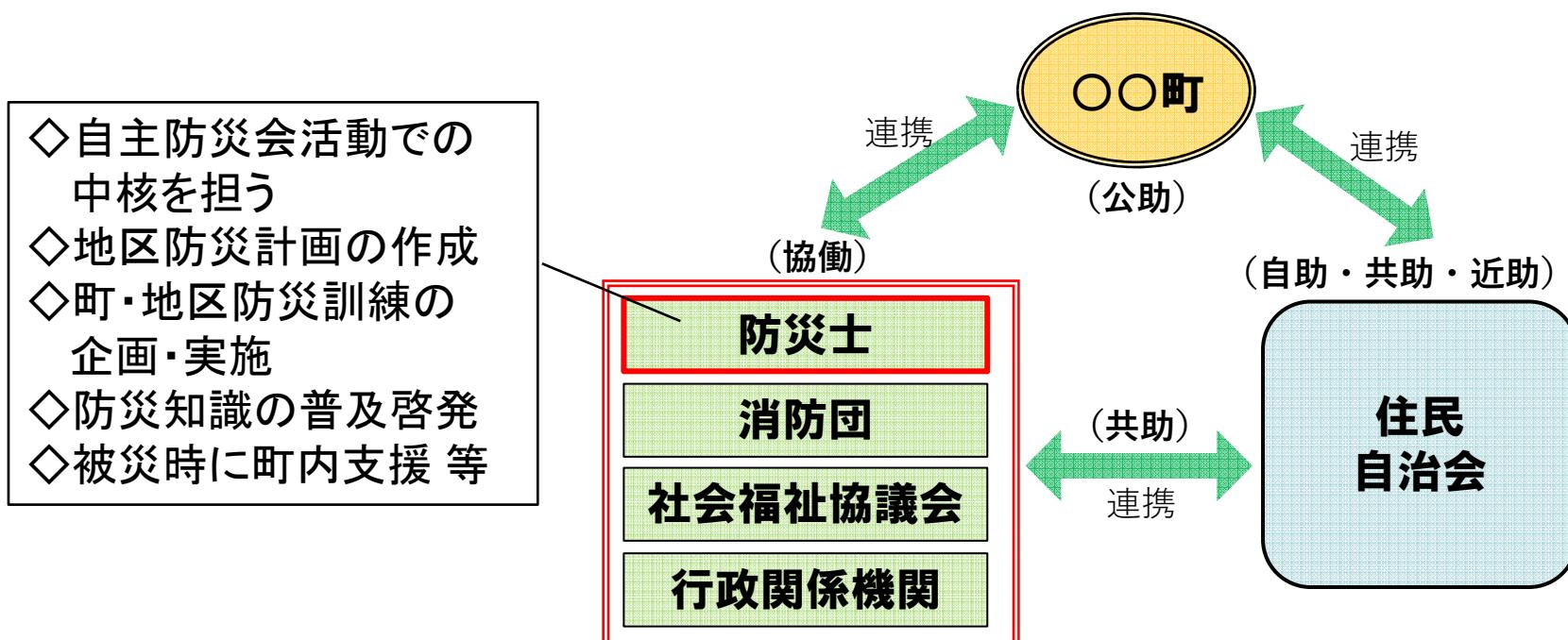
地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ

発災直後における初期消火、避難誘導、避難所開設などを住民自身の手で行うために、地域や職場の人たちと協力して、災害への備えや防災訓練を進めます。

防災士は、そのための声かけ役となり、リーダーシップを発揮します。

自助・共助・近助による防災・減災

国・地方公共団体による「公助」の役割とその限界を踏まえつつ、国民一人ひとりや企業が、自らの命、安全を自ら守る「自助」、地域の人々や企業、ボランティア、団体等が協働して地域の安全を守る「共助」「近助」の理念やそれぞれの役割について理解し、災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を重視し行動しましょう！



(8) 高齢者支援活動のネットワークづくり

高齢になると「今まで普通にできたことが ⇒ できなくなる」

でも！ ◎少しの手助けがあれば ⇒ 普通の生活を続けられる

◎お互い寄り添うことで ⇒ 会話も増え・生きがいも見つかる



ささえあい広場「こころ」を大和郡山市内に設立(今年度は8年目)

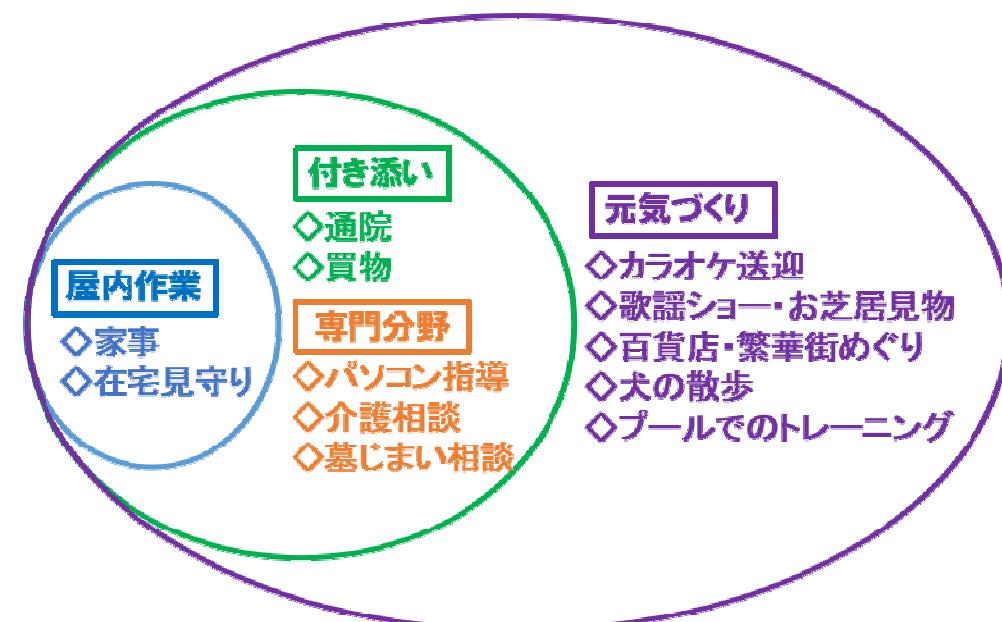
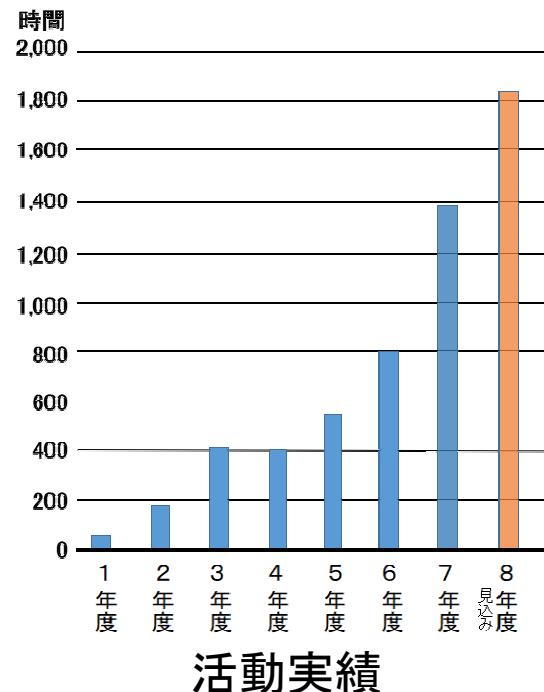
◇有償ボランティア活動(サービス利用料1時間1,000円+交通費)

◇希望されることには何にでも対応

元気づくり ⇒ 美容院・鍼灸院・カラオケ・コンサートへの付添いなども

◇利用を希望される方は多く、今年度の活動は1,800時間を超える

◇サービス提供側も高齢者(高齢者同士 ⇒ 島倉千代子が分かる・歌える)





フジ棚の撤去を依頼され、フジでリーフを作って差し上げました。『長年丹精込めたフジ、よい思い出になりました』と感謝の言葉をいただきました。



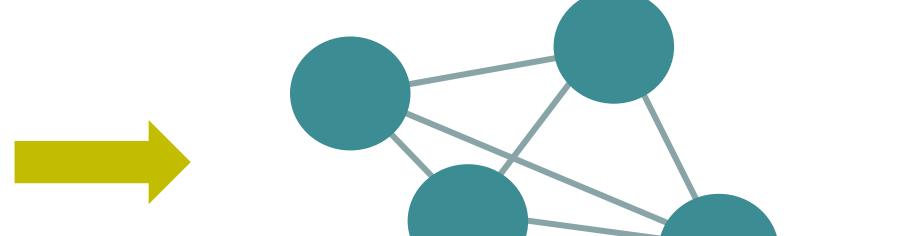
家事支援
(7年ほど継続中)



奈良県介護大賞
「あたたか介護賞」
受賞(2023年)

高齢者の方々のニーズは多く、どこの地域でも必要とされています！

あなたの街でも、
高齢者支援体制をつくりませんか !!
ノウハウを提供します。
完全バックアップを行います。



ネットワークを組み、相互に協力し合い
笑顔の輪を広げましょう！